

市政記者各位

令和5年8月10日

福岡市博物館企画展

おの くわ 「斧と鋤」

縄文時代から始まった「定住」。定住のために、人は斧で木を伐り、鋤・鋤で大地を掘り、土地開発を行いました。この展覧会では、約1万2000年前の縄文時代草創期の石斧・石鋤から、2世紀の弥生時代後期の鉄斧・鉄鋤まで、それぞれの時代の特徴的な資料とあわせて約210点を展示し、縄文時代から始まった土地開発の歴史をふりかえります。

ぜひ博物館へ取材を！担当者がご案内・ご説明をします！



約12,000年前の石斧
縄文時代草創期
西区大原D遺跡



約5,500年前の蛇紋岩製石斧
縄文時代前期
南区中村町遺跡



約5,500年前の石斧製作途中の失敗品
縄文時代前期
西区今山遺跡



約3,000年前の石鋤
縄文時代晩期
西区大原D遺跡

会 期：令和5年8月17日(木)～11月5日(日)

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

場 所：福岡市博物館2階 企画展示室4

料 金：一般200円、高大生150円、中学生以下無料
※常設展示室・企画展示室共通

開館時間：9時30分～17時30分(入館は17時まで)

8月26日(土)までの金・土・日は20時まで開館

(入館は19時30分まで)

お問い合わせ先 福岡市博物館 学芸課 松村・米倉
電話 092-845-5011 FAX 845-5019
〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1